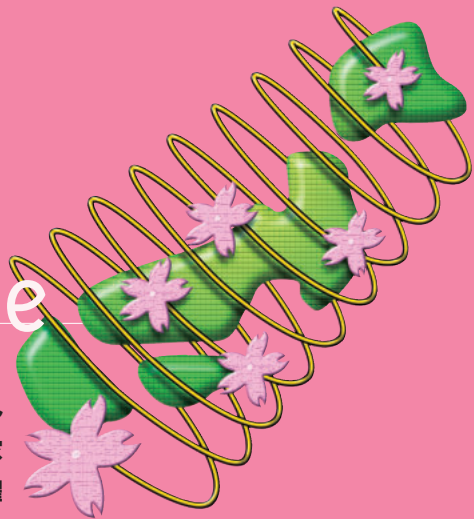


光ファイバー接続サービス 最新動向&選び方ガイド Fiber To The Home



総務省の発表によると、2004年1月末での家庭用光ファイバー接続サービス(FTTH: Fiber To The Home)の加入者数は96万件あまり。2月末での100万件突破が確実視されている。前月末比で7.5パーセント増え、勢いではDSLやケーブルテレビというこれまで家庭向けブロードバンドの中心だったインフラを追い越すことになった。いよいよ表舞台に躍り出た感のある光ファイバー接続サービスの魅力に迫ってみよう。

text: 株式会社イプリオ 石田卓也

illustr: MIZUTANI DOKU

速さも安定性もADSLの比じゃない!“光接続”の魅力に迫る

光ファイバー接続サービス、通称FTTHは、ADSLの対抗馬ではなく、上位にあたるサービスだといわれる。その理由として、まず筆頭に挙げられるのは安定性だ。ADSLを使っていると、ときどき接続が切れたり、速度が不安定だったりするが、光ファイバー接続ではそのような不具合が少ない。2つ目は距離非依存性だ。ADSL

の場合、NTT局舎からの距離によって十分なスピードが得られなかったり、サービスの提供自体が難しかったりもする。光ファイバー接続は、現在提供されている100Mbps程度のスピードであれば、距離が問題になることはほぼない。そして3つ目は将来への拡張性だ。ADSLも技術の進歩によりだんだんと速くなってはいるが、

技術的には1Gbpsを余裕で提供できる光ファイバー接続にはまだまだおよばない。

ADSLが限界ぎりぎりの性能を引き出しているのに比べ、光ファイバー接続にはまだまだ余裕があるため、このような優位性がある。そしてこの優位性を生かしたさまざまなサービスも光ファイバー接続を通して可能になるのだ。

光ファイバー接続はここがすごい!

その1 上りスピードが断然速い! テレビ電話・ホームサーバーに活用

ADSLやケーブルテレビもどんどんスピードアップしているが、それは下り速度を指すことが多く、上りのスピードは1Mbps程度のままで、実はほとんど変化がない。ウェブを見たりメールを読んだりするには下りのスピードが速くなれば快適になるが、相手にデータを送る、たとえば、画像を送るテレビ電話や、写真や映像を撮り溜めてある自宅のホームサーバーに外出先からアクセスするといった場合には、上り下りの回線スピードが等しくて高速なFTTHが断然快適だ。

その2 抜群の安定性を提供 ビジネスユースもOK

ADSLやケーブルテレビは、性能を限界まで引き出すため、距離や物理的な回線の品質により相互にスピードを決め合う、速度が一定でないベストエフォート方式だ。これでは、どうしても不安定になったり切れやすくなったりする。光ファイバーは干渉が少なく、帯域にも余裕があり、常に安定した同じスピードを保てる。また切断時の再接続にかかる時間も短い。ブロードバンド回線をSOHOなどのビジネスユースで利用するには、光ファイバー接続が安心だ。

その3 距離に依存しない高速性 NTT局舎の場所には左右されない

ADSLも最大速度40Mbpsを超えて進歩を遂げてきた。しかし実際にはNTT局舎からの距離や途中のケーブルの品質により、数Mbpsが現実的な数字だろう。距離が長すぎたり、地域によっては途中の幹線が光ファイバーになっていたりするとADSLの導入が難しい場合もある。光ファイバー接続ならば、基本的に距離は関係なく、指定された速度で接続できる。実際の体感速度もかなり違う。現在ADSLで接続スピードに不満のある人には特におすすめだ。

その4 快適な映像観賞 放送受信サービスも光接続で

光ファイバー接続では、いくつかのデータを同時に送れるため、インターネット以外の用途にも使用できる。IP電話がその最たる例だが最近では、この仕組みを利用して、テレビなどの映像を光ファイバー接続を利用してそのまま送信する事業者も登場しつつある。ユーザーは既存のテレビなどに専用のセットトップボックスを接続するだけでいい。いったんデータに変換する方式に比べて、高いクオリティのまま安定した映像を受信できるメリットがある。

性能的・機能的にはADSLをすべて上回るといっても過言ではない光ファイバー接続サービスだが、価格の面を見ると、やはりADSLのほうが安い場合が多い。光ファイバー接続サービスの導入と運用にかかる費用をここで算出してみよう。

回線事業者によって異なる
光ファイバー接続の料金体系

ADSLと同様、光ファイバー接続サービスにも、月額利用料の支払い方法には次の2通りのパターンがある。

- ① 光ファイバー接続サービスの回線利用料に加えてプロバイダー料金を別に支払う
- ② 回線利用料とプロバイダー料金がセットになっている

前者の代表は、NTT東西が提供するフレッツシリーズの光ファイバー版、Bフレッツだ。たとえば一戸建て住宅の場合、利用できるもっとも低価格なプラン「ニューファミリータイプ」で月額利用料が4,725円となっている(これはNTT東日本の場合で、NTT西日本の場合には「ファミリー100タイプ」月額利用料4,300円となる)。これに加えて、屋内配線利用料および回線終端装置利用料の1,155円をNTT東西に支払う。これには、プロバイダー料金は含まれておらず、たとえばプロバイダーにぷららを使うと1,470円のプロバイダー料金を別途支払うことになる。

後者の代表格は、有線ブロードネットワ

ークスの提供する、BROAD-GATE 01だ。こちらは、回線利用料5,040円とメディアコンバーター利用料の945円が毎月かかるが、これ以外にプロバイダー料金は発生しない。ADSLでいうところのYahoo! BBのような料金体系だと思えばいいだろう。そのほかにも、関西電力系eoファイバー、中国電力系のMEGA EGG、九州電力系のBBIQなどが同じような形態を取る。ただし、有線ブロードネットワークスの場合、グループ会社のユーズコミュニケーションズ(UCOM)のネットワークを利用しており、So-netの光(UCOM)コースのようにプロバイダーがUCOMと提携して光ファイバー接続サービスを行っている場合は、プロバイダーにまとめて料金を支払う。

光ファイバー提供事業者とプロバイダーが別であっても、光ファイバー接続サービスにかかる料金すべてをプロバイダーが取りまとめて、いわゆるワンストップ形態でサービスを展開しているのが、東京電力の「TEPCOひかり」だ。たとえばパワードコムのプロバイダーサービス、Powered Internet[POINT]が提供する「光プラン / TEPCOひかり」の場合、ホームタイプ(主

に戸建て住宅用)では、月額利用料5,985円と回線終端装置利用料945円をパワードコムに支払うことになる。

初期費用には、基本工事料や回線工事料などが含まれ、通常20,000円から30,000円ほどが必要となっている。ただし、現在はキャンペーンなどで、初期費用の半額あるいは全額が無料になるケースも多い。また、プロバイダーによっては月額利用料も数か月分が無料になるので、130ページの表や132ページ以降、およびプロバイダー各社のウェブサイトなどを参考にしてほしいだろう。

光ファイバー接続サービスの料金体系

- 初期費用
 - ・基本工事料
 - ・回線工事料
 - ・契約料
- 月額費用
 - ・アクセスライン(回線)利用料
 - ・プロバイダー利用料
 - ・屋内配線利用料
 - ・回線終端装置利用料
- 機器利用料

光ファイバー接続サービス事業者とプロバイダーの関係

Bフレッツは、サービス提供事業者はもちろんNTT東日本・NTT西日本だが、利用するには加えて提携プロバイダーにも加入する必要がある。一方、BROAD-GATE 01はグループ会社のUCOMが回線を提供するものの、利用料は有線ブロードネットワークスのみに支払えばいい(So-netの光 / UCOMコースは除く)。TEPCOひかりは、東京電力が提供しているが、サービス料金は提携プロバイダーのみに支払う仕組みとなっている。

サービス名	Bフレッツ	BROAD-GATE 01		TEPCOひかり	commuf@	eo	MEGA EGG	BBIQ
サービス提供事業者(アクセスライン)	NTT東日本 NTT西日本	ユーズ コミュニケーションズ		東京電力	中部電力			
プロバイダー	@nifty、 ASAHIネット、 BIGLOBE、DION、 OCN、ODN、 So-net、TikiTiki、 WAKWAK、 ぷらら、フリービット、 地域プロバイダー など多数	有線 ブロード ネット	So-net	@nifty、 ASAHIネット、 BIGLOBE、DION、 ODN、POINT、 So-net、 SpeedNet、 Panasonic hi-ho など	BIGLOBE、IIJ、 ODN、 Panasonic hi-ho、 So-net	ケイ・オプティ コム	エネルギー・ コミュニケー ションズ	QTNet (九州通信ネッ トワーク)

サービスエリアも拡大中

光ファイバー接続事業者選択のポイント

光ファイバーを提供する事業者やインターネットサービスを提供するプロバイダーによって、利用できるサービスはさまざま。もちろん、現在ダイヤルアップ接続やADSLなどを利用している場合、メールやホームページを継続して使うために、同じプロバイダーを利用し続けたいということもあるだろう。逆に、この際、回線を変更し換えるのと同時にプロバイダーも乗り換えようと思うこともあるだろう。そのようなFTTHの導入の際に選択の基準となる項目をピックアップした。

Point 2 居住形態に対応するコースがある？

光ファイバー接続サービスを引き込む場所が、戸建て住宅か、集合住宅・マンションかによって利用できるサービスが異なる。これにより、回線を占有できるか共有すべきかも決まってくる。

Point 5 プロバイダーの標準サービスは？

光ファイバー接続サービスを提供する事業者には、複数のプロバイダーを選択できることも多い。メールやホームページの公開サービス、最近ではウェブログの提供サービスなど、利用できるサービス内容も選択の基準になるだろう。広帯域の光ファイバー接続では、家族みんなで使っても十分な速度が得られるため、メールアドレスの複数発行や有害情報のフィルタリングサービスなどが利用できるかどうかも考慮する必要があるかもしれない。

Point 1 サービス提供地域か？

日本中に張り巡らされた電話線を利用するADSLとは異なり、光ファイバー接続は提供地域がまだまだ狭い。事業者によっては、県庁所在地など都市部だけのサービスもある。また、電力系の光ファイバー接続の場合、東京電力は関東地区、九州電力系の九州通信ネットワークは九州地区といったように提供地域が限定されている。提供地域は各事業者が日々広げているところなので、こまめにウェブサイトなどで自分が住む地域の対応可否を確かめたい。需要が多い地区から先にサービスを提供するという事業者も多いので、自分の住んでいる場所が提供地域外の場合には、メールなどで要望や問い合わせを送っておくと早く提供地域になる可能性もある。マンションなど集合住宅向けのサービスでは、一定の利用者が集まれば提供するという方針のサービスもある。この場合には、近隣から利用者を集める必要がある。

Point 3 速度はどれだけ必要か？

ADSLよりは高速で、一定の速度でつながる光ファイバー接続とはいえ、集線率(何人が1つの帯域を同時に使うか)や、プロバイダーの持つ帯域によって、速度はかなり異なる。たとえば速度測定サイトの結果や現ユーザーの掲示板などで事前に情報収集するのも手だ。

Point 6 料金は比較的安い？

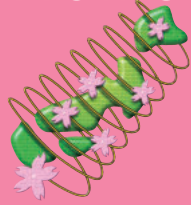
工事費に加え、月額利用料も数か月分が無料、さらにはキャッシュバックさえ用意するプロバイダーも出てきた。期間限定のキャンペーンも多いので、最新情報を常にチェックしよう。外出先でインターネットを使う機会が多いのなら、モバイルの種類やモバイルアクセスの付加費用などまで含めて検討するといい。

Point 4 IP電話は使うか？

一般加入電話や携帯電話との発着信がどんどん広がって便利になるIP電話。光ファイバー接続サービスに申し込むと、基本料金内に含まれていてすぐに利用できるものも多い。なかにはKDDIの光プラス電話のように、今まで使っていたNTT東西の電話番号はそのまま、かつ通話料に加えて基本料も安くなる電話サービスを開始したところもある。また、IP電話は、IP電話のサービス陣営(提携プロバイダー)の組み合わせによっては通話料が無料になる。頻繁に電話する相手がいるなら、電話代も光ファイバー接続サービス選びの基準の1つとなり得る。

Point 7 ブロードバンドコンテンツの利用は？

せっかくの広帯域サービスだから、なんらかのブロードバンドサービスを利用したい。ADSLよりもレスポンスは速いし、快適に楽しめるのは間違いない。本格的な映像配信サービスでなくても、ユーザー向けにちょっとした映画の予告やアニメなど動画配信サービスを行うプロバイダーは多い。もちろんプロバイダーによって、ユーザーが利用できるコンテンツは異なるので、自分の趣味に合ったコンテンツを数多く提供しているプロバイダーを選択したい。



上り速度を生かした利用法

ダイナミックDNSサービスで実現

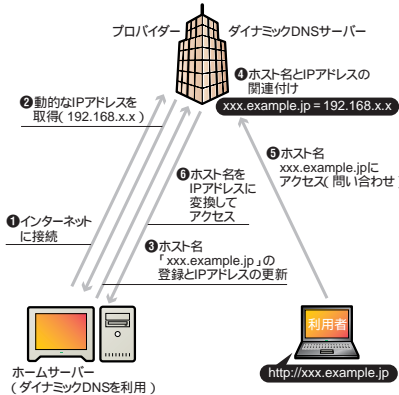
せっかく上りの回線スピードが速い特性を持つ光ファイバー接続サービスを導入したのならば、その性能を十分に生かす切るテレビ電話などの双方向映像通信を活用したり、ホームサーバーを構築したいと考えたりする人も多いただろう。このためには、固定されたFQDN(完全修飾ドメイン名、ホスト名のこと)があると便利だ。しかし、いつ接続しても同じIPアドレスを取得できる固定IPアドレスサービスは、無料で提供する事業者もあれば、月額で1,000円から1万円までかかる事業者もあり、料金設定は幅広い。最近少しずつ値段も下がりつつあるものの、標準で月額3,000円程度と個人で使うにはまだまだ抵抗がある。そこで最近では、ダイナミックDNSサービスを提供する事業者やプロバイダーが増えている。このサービスを利用すると、固定IPアドレスを持たなくても、毎回同じFQDNで外部からアクセスでき

ようになる。

専用のサービス事業者もあるが、使っているプロバイダーがダイナミックDNSサービスを用意している場合には、そちらを使うのが簡単で安心だ。料金は500円以内で済む。

接続を感知し、接続するごとに変更になるIPアドレスを自動的にFQDNと関連付けて設定してくれるプロバイダーもあるが、多くの場合には、ウィンドウズやMac

ダイナミックDNSサービスの仕組み



OS Xなどのパソコンに専用のソフトウェアをインストールすることで自動で更新してくれる。また、ほとんどのプロバイダーではこの更新作業を専用サイトからも行えるようにしている。

現状は、プロバイダーの指定したドメイン名を使い、ホスト名のみを自由に設定できるものが一般的だが、一部には独自ドメイン名を利用できるサービスもあるので、用途に合わせて活用しよう。

ダイナミックDNSサービスを提供する主なプロバイダー

- @nifty
URL <http://www.nifty.com/ddns/>
- BIGLOBE
URL <http://ddns.biglobe.ne.jp/>
- DION
URL <http://www.dion.ne.jp/ddns/>
- ODN
URL <http://charge.odn.ne.jp/ddns/>
- So-net
URL <http://www.so-net.ne.jp/ddns/>
- ぷらら
URL <http://www.plala.or.jp/access/guest/dyndns/>

映像配信サービスで

光ファイバー接続を十二分に活用

光ファイバーは複数のデータを同時に送れるため、インターネットのサービスを提供しながら、それに影響を与えず、通常のテレビ放送と同等かそれ以上の品質で映像を配信できる。このような映像配信サービスを楽しむには、専用のセットトップボックスを設置し、それにテレビをつなぐだけとごく簡単だ。見たいときに番組を引き出すVOD(ビデオオンデマンド)などの双方向通信がリモコンだけで操作でき、テレビを視聴する感覚となら変わらない。現在はサービス提供事業者はほんの一部だが、テレビ放送のデジタル化に合わせて、これからサービスを開始する予定の事業者は多い。また、ケーブルテレビ

各社も同様のテレビ放送サービスを、各家庭まで引き込んだ光ファイバーを使って提供する準備を始めている。デジタル放送の普及とセットトップボックスの低廉化によって、爆発的に普及する可能性がありそうだ。

光接続を利用した映像配信サービス

- オプティキャスト
URL <http://www.opcas.jp/>
SKY PerfecTV! を光ファイバーで提供
- ケイ・オプティコム
URL <http://eonet.jp/eotv/kcateotv/>
京阪ケーブルテレビジョンと共同で映像配信
- KDDI
URL <http://bb.kddi.jp/ftthservice/about/tv.html>
光プラスTV
- 有線ブロードネットワークス
URL <http://www.usen.com/corporate/release/pdf/03091601.pdf>
SKY PerfecTV! や地上波BS放送を配信予定

地域に根ざした光ファイバー接続サービス

最近では、地域限定で光ファイバー接続サービスを提供する事業者も出てきている。ケーブルテレビ会社では、映像を送信するために幹線部分を光ファイバー化していることが多いが、これを延長して、各家庭まで光ファイバーを敷設し始めるところが出てきた。たとえば帯広で展開する帯広シティーケーブル [URL01](#) など、今はまだ一部の地域に限定されるが、これから何年かで同様の形態で運営する事業者が増えていくものと思われる。また、光ファイバーを借り受けて地域にサービスを提供する会社も出てきた。北海道の江別市でサービスを提供するウェブワン [URL02](#) では、NTT東日本の光ファイバーを利用してサービスを提供している。サービスを受けられる地域は限られるものの、インターネットの地域間格差をなくすためにも期待が持てる。
[URL01 http://www.octv.ne.jp/](http://www.octv.ne.jp/)
[URL02 http://www.webone.ne.jp/](http://www.webone.ne.jp/)

タイプ別 光ファイバー接続サービスの 選び方

光ファイバー接続サービスは、既存の電話回線を利用するADSLと異なり、光ファイバーを引き込む場所によってサービスプランが分かれる。ここでは、マンションなどの集合住宅、一戸建て住宅、オフィスなど企業用途のタイプ別により、利用できるサービスを見てみよう。

1 集合住宅

100Mbpsを複数で共有
管理組合との交渉は事業者が代行

光ファイバー接続サービス事業者は、主に都市部においてマンションや集合住宅に向けて、一戸建て住宅向けよりも安価に光ファイバーを導入できるサービスを提供している。安価にできるのは、集合住宅では回線帯域を共同で利用するためだ。建物全体で光ファイバーを引き込み、個々の住居までは、光ファイバーよりも廉価なVDSL(既存の電話用の銅線を利用してインターネット接続を提供する)や無線を使う。

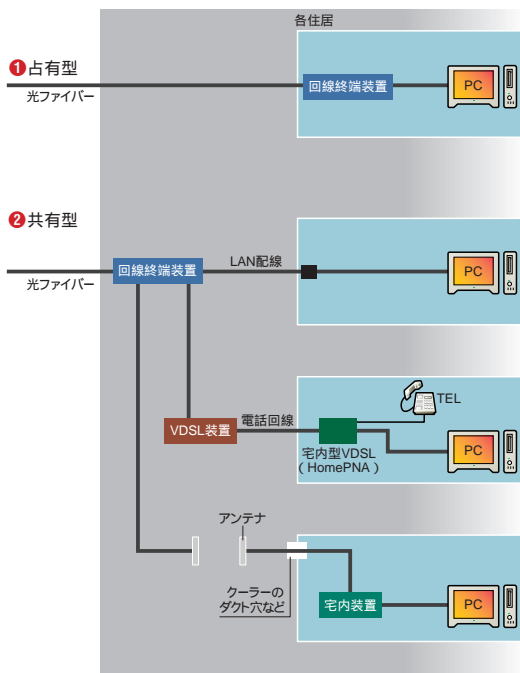
建物の中での配線方式には、さまざまな形態がある。また、もっと広帯域で安定したサービスを求めるのなら、戸建て住宅向けのように光ファイバーを住居まで引き込むケースもある。しかしながら、マンションなどの集合住宅では、光ファイバーなどのケーブル類は共同管理区域を通るため、その建物のオーナーや管理組合などによって設置や利用が制限されることがある。また、景観上の理由から光ファイバーの引き込みや無線機器の設定ができない場面もある。古い建物だと、光ファイバーを敷設する管路自体がないことも考えられる。

オーナーや管理組合との交渉は、回線事業者が行ってくれるのがほとんどだが状況により直接の交渉が必要なこともある。また、このような共同利用型のサービスは、1つの建物で複数の申込者が加入することを前提に提供されている。十分な申込者が見込まれない場合、このようなサービスは受けられない可能性もあり得る。個々の物件により状況は違うので、まずはプロバイダーや回線事業者にお問い合わせしてみるといいだろう。

利用できる主な光ファイバー接続サービス

- ・NTT東日本「Bフレッツ マンションタイプ」
- ・NTT西日本「Bフレッツ マンションタイプ」「Bフレッツ ワイヤレスタイプ」
- ・有線ブロードネットワークス「BROAD-GATE 01 Type E マンション」
- ・東京電力「TEPCOひかり・マンション」
- ・ケイ・オプティコム「eoメガファイバー」
- ・中部電力 ひかりネット・カンパニー「コムファ・マンション」
- ・エネルギア・コミュニケーションズ「MEGA EGG マンション」
- ・九州通信ネットワーク「BBIQ マンションプラン」

接続イメージ



占有型の場合、戸建て住宅同様に、光ファイバーケーブルが直接個々の住居に敷設される。このとき、住居に回線終端装置が設置される。一方、共有型は集合住宅の共同管理区域に回線終端装置が設置され、そこから100BASE-TXのLAN配線、VDSL装置を経由した通常の電話回線利用、無線のいずれかの方法で各住居に到達する。

不動産管理会社関連のマンション専門プロバイダーによるFTTHサービス

近ごろのマンションは、不動産会社や管理会社によってあらかじめ光ファイバーが導入されていたり、マンション向けインターネットサービス会社によってすぐにサービスを受けられるようになっていたりする。どうしても限定されたサービスになるが、セキュリティサービスなどが付随したものもあり、利用料も安価なので引越しの際などに検討してみるといいだろう。管理組合やオーナーに交渉すると導入してもらえらることもある。

e-mansion(三菱地所・東京建物)

QR http://www.e-mansion.com/

CYBERHOME(大京)

QR http://www.cyberhome.ne.jp/

Fiber Bit

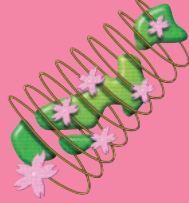
QR http://www.fiberbit.net/

DoCANVAS

QR http://www.canvas.ne.jp/

ブロードバンドコム

QR http://www.broadbandcom.co.jp/



2 戸建て住宅

基本は占有で快適環境

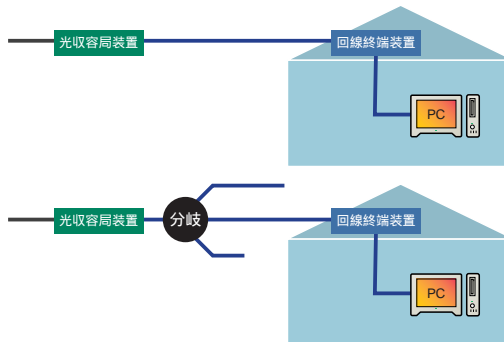
複数で共有するケースではより安価に

基本的には、各住宅まで光ファイバーを引き込むサービスを利用することになる。複数の住宅で帯域を共同利用するタイプや、局舎までの間を占有するものなどがあり、前者のほうが安価だが速度は落ちる。ほとんどの場合、現在電話を差し込んであるモジュラージャックの近辺まで光ファイバーを敷設し、そこに終端装置を設置してサービスを提供する。住宅の中であれば、ある程度設置する場所を指定できるが、光ファイバーの敷設距離や場所によって別途工事料金が掛かっていくことがある。住宅の前まで光ファイバーが敷設されているときは比較的スムーズに開通するが、近くまで来ていないときにはかなりの時間を要することもある。

利用できる主な光ファイバー接続サービス

- ・NTT東日本「Bフレッツ ベーシックタイプ」「Bフレッツ ニューファミリータイプ」
- ・NTT西日本「Bフレッツ ベーシックタイプ」「Bフレッツ ファミリー100タイプ」
- ・有線ブロードネットワークス「BROAD-GATE 01 Type E ホーム」
- ・東京電力「TEPCOひかり・ホーム」
- ・ケイ・オプティコム「eoホームファイバー」
- ・中部電力 ひかりネット・カンパニー「コムファ・ホーム」
- ・エネルギア・コミュニケーションズ「MEGA EGGファイバー」
- ・九州通信ネットワーク「BBIQスタンダードプラン」

接続イメージ



回線事業者のビル内にある光収容局装置から電柱や地下を經由して、各住宅内に設置した回線終端装置まで100Mbpsの光ファイバーケーブルが敷設される。Bフレッツ ニューファミリータイプなどでは、複数の住宅で100Mbpsを共有するため途中で分岐される。

3 企業・ビジネス向け

ビジネスプランを各種用意

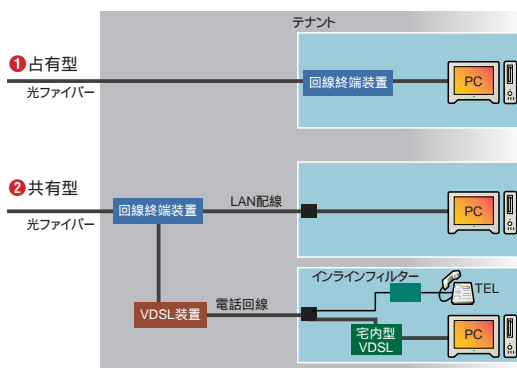
家庭向けより低い集約率で安定性確保

自社ビルあるいはテナントとしてビルに入居している企業の場合、物理的には戸建て住宅と同じ方式で光ファイバーを引くことになる。ただ、一般の家庭向けよりも、集約率を少なくしたり、帯域を拡大したりしたビジネス向けのコースを用意している事業者が多い。ビジネス向けに固定IPアドレスを複数用意したり、通信プロトコルの制御で複数回線による冗長化が行えたりするサービスも登場している。また、1本の光ファイバーを複数のテナントで共同利用するサービスや、森ビルのMIK (Mori Building Information Infrastructure) など、ビルの管理会社自体がインターネットサービスを提供するものもある。

利用できる主な光ファイバー接続サービス

- ・NTT東日本「Bフレッツ ベーシックタイプ」「Bフレッツ ビジネスタイプ」など
- ・NTT西日本「Bフレッツ ベーシックタイプ」「Bフレッツ ビジネスタイプ」
- ・有線ブロードネットワークス「BROAD-GATE 02」
- ・ケイ・オプティコム「eoオフィスファイバー」「ビジネスeo」
- ・中部電力 ひかりネット・カンパニー「コムファ・オフィス」
- ・エネルギア・コミュニケーションズ「MEGA EGGオフィス」
- ・九州通信ネットワーク「BBIQビジネスプラン」

接続イメージ



占有型の場合、戸建て住宅同様に、光ファイバーケーブルが直接、ビル内の個々のテナントに敷設される。このとき、テナントに回線終端装置が設置される。一方、共有型はビルの共同管理区域に回線終端装置が設置され、そこから100BASE-TXのLAN配線とVDSL装置を經由した通常の電話回線利用のいずれかの方法で各テナントに到達する。VDSL方式では、1本の電話回線でインターネットと電話が共用できる。

実際に申し込むには...

その方法と開通までの流れ

申し込みは、光ファイバーを提供する回線事業者に直接行く場合と、プロバイダーに申し込む場合とがあり、利用したい回線により申し込み先が異なる。Bフレッツシリーズなどでは、直接回線事業者であるNTT東日本・NTT西日本に申し込めるが、コンサルティングサービスを行っているプロバイダーも多いため、プロバイダーに対して申し込むことができる。一方、ケイ・オプティコムeoのように回線事業者がプロバイダーも兼ねている場合には、回線事業者に申し込むことになる。

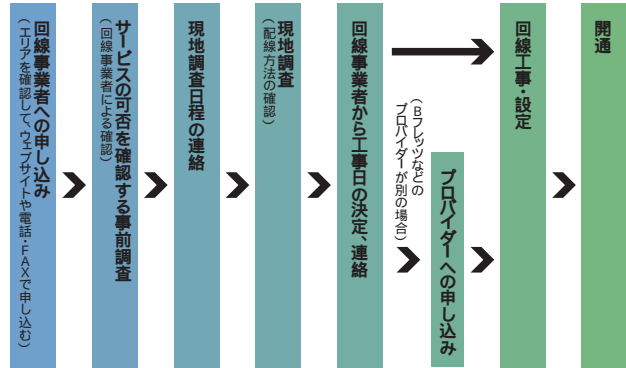
いずれにせよ、回線事業者が周辺の光ファイバーの状況などを調べ、回線の提供が可能であればどこに光ファイバーを設置するかも含めて、実際に自宅やオフィスまで調査に来ることになる(近ごろはこの調査を省いて開通までの期間を短縮している事業者もある)。その際に、集合

住宅であればオーナーや管理組合への許可申請などを行う必要があるが、これらはほとんどの場合回線事業者が行ってくれる。その結果、実際に光ファイバー工事の日程が決まる。申し込みから工事まで、少なくとも2週間くらい、実際には1か月程度かかる場合が多いようだ。また、状況によりそれ以上かかる場合もある。

NTT東日本・NTT西日本のBフレッツ

など、プロバイダーと回線事業者のそれぞれに申し込むサービスでは、プロバイダーは申し込んですぐに処理ができるため、先に回線事業者に依頼し、回線工事の日程が決まってからプロバイダーへ連絡するといいだろう。回線工事が完了すれば、早くてもその場で、遅くても次の日には使えるので、そのタイミングに合わせてプロバイダーが使えるようになっていけばいい。

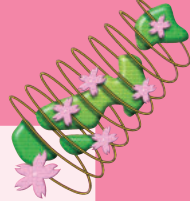
申し込みから開通までの流れ



光ファイバー接続サービス事業者一覧(個人向けサービス)

サービス名	事業者名	プラン	初期費用	月額費用	最大通信速度	IPアドレス数
Bフレッツ	NTT東日本	ベーシック	29,295円 + ISP料金	10,605円 + ISP料金	100Mbps	プロバイダーによる
		ニューファミリー	29,295円 + ISP料金	5,880円 + ISP料金	100Mbps	
		マンション(VDSL)	21,840円*1 + ISP料金	4,200円*1 + ISP料金	50Mbps	
		マンション(PNA)	21,840円*1 + ISP料金	4,147円*1 + ISP料金	50Mbps	
		マンション(LAN配線)	13,335円*1 + ISP料金	3,675円*1 + ISP料金	100Mbps	
		マンション(ワイヤレス)	21,840円*1 + ISP料金	5,040円*1 + ISP料金	46Mbps	
Bフレッツ	NTT西日本	ベーシック	29,295円 + ISP料金	10,605円 + ISP料金	100Mbps	プロバイダーによる
		ファミリー100	29,295円 + ISP料金	5,670円 + ISP料金	100Mbps	
		マンション(VDSL)	21,840円*1 + ISP料金	4,410円*1 + ISP料金	70Mbps	
		マンション(LAN配線)	13,335円*1 + ISP料金	3,675円*1 + ISP料金	100Mbps	
		ワイヤレス(無線)	21,840円*1 + ISP料金	5,040円*1 + ISP料金	80Mbps	
		SOHO	30,450円*2	14,595円*2	100Mbps	
TEPCOひかり	東京電力	ホーム	18,900円*2	6,930円*2	100Mbps	1
		マンション	12,600円*2	4,253円*2	57Mbps	1
		無線アクセス	12,600円*2	4,253円*2	30Mbps	1
		SOHO	30,450円*2	14,595円*2	100Mbps	1
BROAD-GATE01	有線ブロードネットワークス/ユーズコミュニケーションズ	Type E マンション	18,900円	5,040円	100Mbps	1
		Type E ホーム	34,650円	5,985円	100Mbps	1
		Type V マンション	12,600円	4,095円	16Mbps	1
		Type V マンションファミリーパック	12,600円	4,410円	16Mbps	1
KDDI光プラス	KDDI	光プラスネット	21,000円	4,095円	70Mbps	1
eo	ケイ・オプティコム	ホームファイバー	31,500円	6,300円	100Mbps	1
		メガファイバー	10,500円	4,599円	100Mbps	5
MEGA EGG	エネルギー・コミュニケーションズ	ファイバー	26,250円	5,565円	100Mbps	1
		マンション	3,150円	4,410円	100Mbps	1
BBIQ	九州通信ネットワーク(QTNet)	スタンダードプラン	25,830円	5,775円	100Mbps	1
		マンションプラン1	25,830円	3,990円	100Mbps	1
		マンションプラン2	11,550円	4,725円	100Mbps	1
		マンションプラン3	11,550円	3,675円	100Mbps	1
commuf@ (コミュファ)	中部電力 ひかりネット・カンパニー	ホーム スタンダード	26,250円	6,300円	100Mbps	1
		ホーム エコノミー	26,250円	6,090円	100Mbps	1
		マンション タイプV	18,900円	4,725円	50Mbps	1
		マンション タイプL	12,600円	3,990円	100Mbps	1
		マンション タイプF	26,250円	5,880円	100Mbps	1
アクセスコミュファ	中部電力 ひかりネット・カンパニー	ホーム	26,250円 + ISP料金	4,200円 + ISP料金	100Mbps	プロバイダーによる
		マンションV	18,900円 + ISP料金	3,570円 + ISP料金	50Mbps	
		マンションL	12,600円 + ISP料金	2,835円 + ISP料金	100Mbps	
		マンションF	26,250円 + ISP料金	3,885円 + ISP料金	100Mbps	

料金はすべて税込みの総額表示。初期費用は、基本工事費、交換機工事費、屋内配線工事費、回線終端装置工事費、契約料の合計。月額費用は、屋内配線利用料や回線終端装置利用料を含む*1プラン1の料金。プラン1は8件以上の申し込みが見込まれる場合。16件以上一括して申し込みの場合には月額利用料が割引になるプラン2もある *2 初期費用、月額費用はプロバイダーにより異なる。ここではPowered Internet



提供地域やPC環境、導入前には確認

光ファイバー接続サービスが身近になってきたとはいえ、まだまだ使える範囲には制限がある。また、使える都道府県が限られているサービスも多い。マンションなどの集合住宅では、光ファイバーの引き込みができるかどうか導入のカギになる。

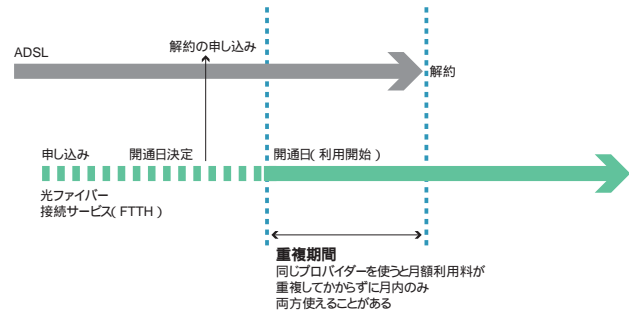
導入に際しては、機器の準備などを進める前に、まずは提供可能な場所であるかどうかをしっかりと確かめておく必要があるだろう。提供地域であっても開通までに時間がかかることもあるので、ウェブサイトやオンラインショップの立ち上げなど、何かに合わせて導入を計画しているのなら、余裕を持ちたい。

実際に導入を行ってから、まったく回線スピードが変わらないということがある。調べてみると、利用しているパソコンのOSが古かったり接続している機器が十分なパフォーマンスを得られなかったりということがあった。ハブやスイッチ、パソコンに加えてルーター、見落としがちな無線LANなど、光ファイバー接続の高いスループットを生かせるかどうかを事前に調べておこう。また、高速な環境になったために、外部からの攻撃の対象になったり、踏み台として利用されてしまったり、セキュリティ上の問題が起こることもある。せっかくの安定した高速な環境なので、しっかりセキュリティ面にも配慮して利用することで、光ファイバー接続サービスを快適に使いたいものだ。

確認事項

- ・使いたいサービスの提供地域か？
- ・サービス開始のタイミングと開通までの期間は？
- ・他のブロードバンド回線を利用しているならどのタイミングで乗り換えるか？
- ・パソコンのOSが古くないか？
- ・ルーターやその他の機器は高速回線に対応しているか？
- ・セキュリティは十分に確保されているか？

ADSLからの乗り換えタイミング



ADSLから切れ目なく光ファイバー接続サービス (FTTH) に移行するには、いったんFTTHが開通するタイミングを見てADSLを解約しなければならない。FTTHの開通日が決まり次第、ADSLの解約の申し込みをしたほうがいいだろう。同じプロバイダーを使い続ける場合は、その月であれば、両方重複して利用できたり、移行時に新しいコースの月額利用料が1か月無料になるなどの特典を用意している事業者も多い。

割り当て方式	接続可能台数	メールアドレス	ホームページ容量	電話番号	URL	サービスエリア	対応プロバイダー
PPPoE	10	プロバイダーによる	プロバイダーによる	0120-518411	http://flets.com/opt/	日本全国(東日本地区)	@nifty、BIGLOBE、So-net、OCN、ODN、Panasonic hi-ho、ぶららぼか
	5						
	5						
	5						
	5						
PPPoE	10	プロバイダーによる	プロバイダーによる	0120-111701	http://www.ntt-west.co.jp/ipnet/pt/bflets/	日本全国(西日本地区)	@nifty、BIGLOBE、So-net、OCN、ODN、Panasonic hi-ho、ぶららぼか
	5						
	5						
	5						
	5						
PPPoE	5	プロバイダーによる	プロバイダーによる	0120-996-881	http://www.tepco.ne.jp	東京(23区、11市)および、神奈川県・千葉・埼玉の一部	@nifty、BIGLOBE、POINT、So-net、ODN、Panasonic hi-hoほか
	5						
	5						
	10						
固定	5	オプション	オプション	0120-359-881	http://www.usen.com/gate01/	東京、神奈川、千葉、埼玉、北海道、宮城、愛知、京都、大阪、兵庫、広島、福岡	BROAD-GATE01、So-net
	5						
PPPoE	5	オプション	オプション	0120-359-882	http://www.usen.com/gate01/	東京、神奈川、千葉、埼玉、北海道、宮城、愛知、京都、大阪、兵庫、広島、福岡	BROAD-GATE01、So-net
	5						
PPPoE	6	5	5MB	0077-7168	http://bb.kddi.jp	東京、神奈川、千葉、埼玉、北海道、宮城、愛知、滋賀、奈良、大阪、兵庫、京都、広島、福岡	自社
	5						
PPPoE	5	1	20MB	0088-25-1010	http://eonet.jp	大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山、福井の一部	自社
	5						
PPPoE	5	1	オプション	0120-050-017 または082-542-5980	http://www.megaegg.jp	島根、岡山、広島、山口	自社
	5						
	5						
PPPoE	5	5	20MB	0120-86-3727	http://www.bbqj.jp	九州全県	自社
	5						
	5						
	5						
	5						
PPPoE	5	5	50MB	0120-218-919	http://www.commufa.jp	名古屋市内	自社
	1						
	5						
	5						
	5						
PPPoE	5	プロバイダーによる	プロバイダーによる	0120-218-919	http://www.commufa.jp	名古屋市内	BIGLOBE、IJ、So-net、ODN、Panasonic hi-ho
	5						
	5						
	5						
	5						

【POINT】の場合



今ならお得な割引キャンペーン実施中

光ファイバー接続サービス事業者 & 提携プロバイダー サービスガイド

Fiber To The Home

「光ファイバー接続サービスは高い」という印象を持っている人は今でも少なくないだろう。また、アナログの電話回線をそのまま使えるADSLと比較すると、工事が大がかりで導入に尻込みしていた人も少なくないはずだ。

しかし、現在ではADSLとの価格差はだいぶ縮まっている。光ファイバーのメリットである安定性によりIP電話の品質も向上し、従来の加入電話を解約してIP電話をメインに使用すれば、通信費全体を考えるとADSLよりも安い場合さえある。集合住宅であって

も、導入工事の際にともなうオーナーや管理組合との交渉もサービス事業者が積極的に引き受けてくれるようになったため、導入の障壁はほとんどない。

まさに、光ファイバー接続サービスは、導入しやすい環境になっている。そのうえ、今申し込みをすれば、初期費用や数か月分の月額利用料が無料になるキャンペーンを各社が展開している。ここでは、光ファイバー接続サービスを提供する回線事業者（FTTH事業者）とプロバイダー（ISP）のサービス内容と特典情報を紹介しよう。

協賛企業

- ・株式会社有線ブロードネットワークス
- ・東京電力株式会社
- ・株式会社パワードコム
- ・ニフティ株式会社
- ・株式会社ぶららネットワークス

主なサービス提供事業者におけるアクセスラインとプロバイダーの関係

光ファイバー接続サービス事業者	有線ブロードネットワークス	東京電力	NTT東日本 NTT西日本
サービス名	BROAD-GATE 01 ▶ 133 ページへ	TEPCOひかり ▶ 134 ページへ	Bフレッツ
アクセスライン	ユーズ コミュニケーションズ	東京電力	NTT東日本 NTT西日本
プロバイダー	有線ブロード ネットワークス	Powered Internet[POINT] ▶ 135 ページへ @nifty ▶ 136 ページへ	
			ぶらら ▶ 137 ページへ

BROAD-GATE 01

有線ブロードネットワークス/ユーズコミュニケーションズ

<http://www.usen.com/gate01/>



BROAD-GATE 01のネットワーク構成は極めてシンプルだ。アクセスラインからIX(Internet eXchange)までUSENのグループ会社である株式会社ユーズコミュニケーションズ(UCOM)が保有する光ファイバーネットワーク網を利用し、ユーザーに対して高いスループットを提供している。

アクセスラインからISPサービスまで USENグループでまとめて提供

BROAD-GATE 01は、プロバイダ(ISP)サービスを有線ブロードネットワークス(USEN)が運営し、アクセスラインにグループ会社のUCOMが提供する光ファイバーを利用する。サービスプランは、マンションなどの集合住宅用と一戸建て用と2種類用意され、集合住宅の場合は回線を複数の入居者で共有する。

基幹部分のネットワークはUCOMの光ファイバー網だけで構築されていることもあり、ネットワーク構成がシンプルで高いスループットを実現しやすい環境にある。導入工事の際には、必ず作業員が立ち会って接続テストを行い、30Mbps以上の速度を確認するまで工事が完了しないなどの明確な設備工事基準を定めてユーザーにネットワークの快適さを保証している。

UCOMは、当初は電柱のみを利用して光ファイバー網を張り巡らせていた。現在ではNTTのダークファイバー網を使うことで、電柱のない場所にもサービスを提供できるようになった。回線の選択はユーザー側ではできないが、速度性能についてはどちらも同じだという。

サーバー構築に便利な 固定IPアドレスを標準で提供

BROAD-GATE 01は、標準で固定のグローバルIPアドレスを1個以上(最大5個まで)提供している。オプション提供の事業者が多いなかで、これは非常にユニークだ。

BROAD-GATE 01と同時に申し込みれば初期費用が無料になるIP電話「GATE CALL」は、情報通信技術委員会(TTC)が定めたIP電話の品質基準においてもっとも良質なクラスAを有し、通常のアナログ電話

と遜色ない。そのうえ、IP電話を意識させない「03」「045」「06」などの市外局番で始まる電話番号を取得できて使い勝手もいい。

また、USENでは動画を中心としたストリーミングコンテンツを提供している。コンテンツ事業である有線放送の地盤によりコンテンツクリエイターとの結びつきが深いため、ブロードバンドにおいてもコンテンツの充実が期待できる。現状は有料コンテンツにかぎらず、BBCニュースやブルームバーグ、ナショナルジオグラフィックなど一部の人気コンテンツを無料で提供している。

BROAD-GATE 01 Type E サービス概要

初期費用	18,900円(集合住宅) 34,650円(一戸建て住宅)
月額回線利用料	5,040円*1
最大通信速度	下り上り最大100Mbps
IPアドレス数	1個以上(最大5個まで)
接続可能台数	5台
接続方式	VLAN
集合住宅の各戸への配線方式	Cat5e(イーサネット)
メールアドレス	1個*2
ホームページ容量	20MB*2
IP電話	月額費用525円

*1一戸建て住宅の場合、別途メディアコンバーター利用料(月945円)がかかる。また、集合住宅でも建物の形態および構造によっては必要となる場合がある

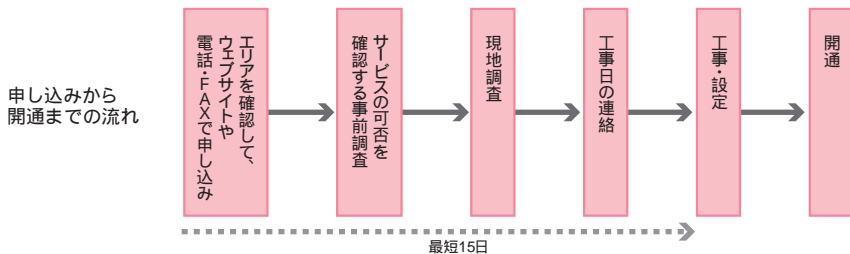
*2月額315円でメールアドレス付与とホームページスペースと一緒に提供される
ベストエフォートサービスのため、インターネット利用時の通信速度を保証するものではない

キャンペーン情報

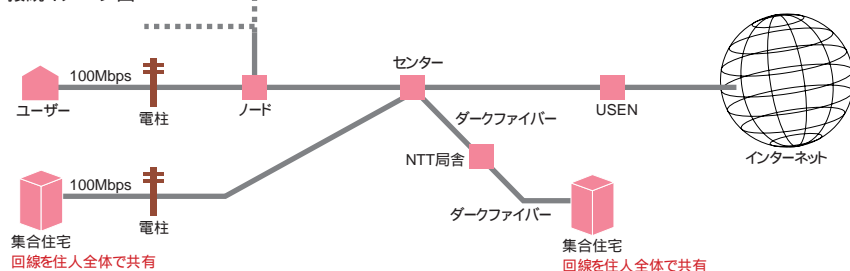
基本工事費15,750円が無料になるキャンペーンを実施中。さらに、3月31日まではウェブからの申し込み限定で、iPod miniが抽選で10名に当たる。

問い合わせ先

株式会社有線ブロードネットワークス
ブロードバンドカスタマーセンター
0120-359-881
(10:00~18:00年中無休)



接続イメージ図



FTTH
事業者

サポートも支払いもすべてワンストップ、ホールセール型接続サービス

Fiber To The Home

TEPCOひかり

テブコ

東京電力

<http://www.tepco.ne.jp/>



光ファイバー回線のためのシンプルなネットワーク構成で、各世帯まで最大100Mbpsの光ファイバー回線をまるごと1本使う占有型のサービスを提供しているのが東京電力の「TEPCOひかり」だ。共用型のように他のユーザーの利用状況に左右されにくい安定・高品質でのサービスが最大の魅力だ。

1回線100Mbpsをまるごと占有 速度面に大きな自信

戸建て向けのTEPCOひかり「ホームタイプ」は、100Mbpsの光ファイバー回線を1世帯でまるごと占有するタイプの光ファイバー接続サービスだ。各地の電柱に張り巡らされた光ファイバー網から直接ケーブルを伸ばして各戸に接続する。「OSがWindows XPのパソコンなら特に調整しなくても70~80Mbpsは出る」と担当者が語るように、占有型ならではの高水準の速度性能を実現している。また、集合住宅向けの「マンションタイプ」は、建物に100Mbps占有の光ファイバーを引き込み、各戸までは既存の電話回線を用いるVDSL方式や5GHzの無線方式で高速サービスを提供する。

TEPCOひかりはいわゆるホールセール型の回線事業者で、導入の申し込みは東京電力に行うのではなく、提携プロバイダーに直接申し込む。加入申し込みやサポ

ート、料金の支払いなど諸々の手続きは、すべてプロバイダー一括で済むので、ユーザーにとっては非常に便利だ。

双方向型コンテンツの提供と 生活に根付く新サービスに期待

東京電力では吉本興業と強力タッグを組み、双方向型のコンテンツサイト「casTY」（キャスト）URLを提供している。上り速度も速い光ファイバー通信ならではの強みを生かし、一方的に見るだけでなく双方向のコミュニケーションサイトに主眼を置いたユニークなコンテンツが揃っている。

東京電力では、インターネット回線も電気や水道と同じライフラインと考えている。今後は光ファイバーの速度と安定性を生かし、生活に密接にかかわるサービスを提供する計画で現在準備を進めているとのこと、今後の展開に期待したい。

URL <http://casty.jp/>

サービス概要

初期費用	30,450円 - *1
月額利用料	5,859円 - *1
最大通信速度	下り上り最大100Mbps
IPアドレス数	1個(グローバルアドレス)
ダイナミックDNS	プロバイダーによる
接続可能台数	5台(ホーム) / 10台(SOHO)
接続方式	PPPoE
集合住宅の各戸への配線方式	VDSL、無線

*1 対応プロバイダーによるベストエフォートサービスのため、インターネット利用時の通信速度を保証するものではない

キャンペーン情報

- ・初期費用・月額利用料最大3か月無料キャンペーンなどを提携プロバイダー各社で実施中。(キャンペーン期間、内容についてはプロバイダーによって異なる。詳細はTEPCOひかりホームページへ)
- ・TEPCOひかりのリーフレットや雑誌・新聞広告などに記載の10桁のラッキーナンバーを専用サイトで入力すると毎日1人に1万円の商品券などがその場で当たる「ラッキーナンバーキャンペーン」を開催中(4月30日まで)

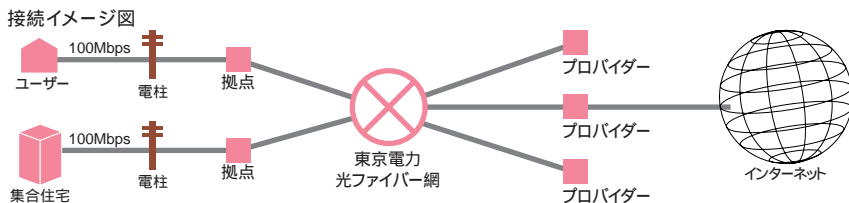
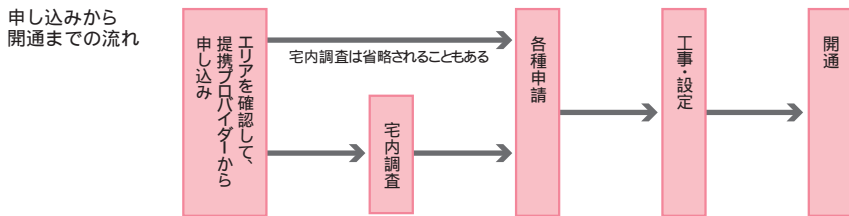
提携プロバイダー

POINT	ODN
So-net	ParkcityNet
@nifty	Linkclub
BIGLOBE	T-com
SpeedNet	OCV
DION	U-netSURF
ASAHIネット	Fiber Bit
Panasonic hi-ho	TCN

マンション、ホテル、店舗、SOHO向けプロバイダー

問い合わせ先

東京電力株式会社
TEPCOひかり カスタマーセンター
0120-996-881
(9:00 ~ 18:00 特定休日を除く)



3階以下は「ホームタイプ」も導入可能。4階以上は建物の共用部分まで光ファイバーを引き、以降共用部分から各戸までをVDSL接続(下り57Mbps・上り33Mbps)もしくは電柱の基地局から5GHzの無線接続(上り・下りともに30Mbps)となる。

Powered Internet [POINT]

パワードコム

<http://www.point.ne.jp/>

Powered Internet[POINT]は、「東京電話」などを提供する東京電力のグループ企業であるパワードコムのインターネット接続サービスだ。パワードコムは光ファイバーインターネットの「TEPCOひかり」をはじめ、ADSLおよびFTTHのブロードバンドプランを積極的に展開している。

100Mbps 光ファイバーの
決定版「TEPCOひかり」

「POINT」は、パワードコムのインターネット接続サービスだ。パワードコムは、独自の光ファイバー網を持ち、広域イーサネット、インターネットVPN、IPセントレックス、データセンターなど、安定性が重視される企業向けのサービスを提供しているネットワークのスペシャリスト企業だ。東京電力のグループ企業であり、かつ「東京電話」を提供していることでも知られている。「POINT」の光ファイバー接続サービスは、東京電力の「TEPCOひかり」(ホーム、SOHO、マンション、無線アクセスの4タイプ)に加え、NTT東日本の「Bフレッツ」(ファミリー、ニューファミリー、マンションの3タイプ)と幅広い。

光ファイバー接続サービスには、1つの回線を複数世帯で共有するタイプと、一世帯で占有するタイプがある。「光プラン / TEPCOひかり・ホーム」は最大100Mbpsの光ファイバーを一世帯で占有するプラン。我

が家専用の回線で、光ファイバーの超高速通信が可能になる。「光プラン / TEPCOひかり・ホーム」であれば、大容量のファイルをダウンロードしたり、ライブのストリーミング中継を楽しんだり、ブロードバンド時代ならではの充実したインターネットライフを手にすることができるはずだ。

また、「POINT」の強みの1つとして、「東京電話」やIP電話の「POINT Phone」などの各種電話サービスが挙げられる。「東京電話」とのセット加入割引「東京電話セットプラス」を利用すれば、インターネットの月額基本料が割引になる。一方、IP電話の「POINT Phone」では「POINT Phone」加入者間の通話料が無料、一般加入電話への通話が全国一律3分7.875円、携帯電話への通話が1分18.9円と非常にリーズナブルな料金設定になっている。

さらに、「POINT」なら、全プランに無料のメールウイルスチェックサービスが付いている。「POINT」のメールアドレスから送受信したすべてのメールに対してウイルスチェックを行うので、非常に心強い。

光プラン / TEPCOひかりサービス概要

最大通信速度	下り上り最大100Mbps
IPアドレス数	1
ダイナミックDNS	なし
接続可能台数	ホーム 5台、SOHO 20台
メールアドレス	1個
ホームページ容量	5MB

ベストエフォートサービスのため、インターネット利用時の通信速度を保証するものではない

料金表

プラン名	光プラン / TEPCOひかり・ホーム		光プラン / TEPCOひかり・SOHO	
POINT Phoneの有無	なし	あり	なし	あり
初期費用 *1	30,450円		30,450円	
POINT Phone初期費用	-	525円 *3	-	525円 *3
月額	インターネット接続料 *2 5,985円 *4		13,650円 *4	
料金	POINT Phone利用料 *2	-	105円	105円

*1 開通手数料と工事費(標準工事の場合)。4月30日までに新規に「光プラン / TEPCOひかり」に申し込むと無料

*2 別途メディアコンバーター使用料(月945円)やIP電話アダプターレンタル料(月504円)などがかかる

*3 4月30日までに新規に「POINT Phone」に申し込むと無料

*4 4月30日までに新規に「光プラン / TEPCOひかり」に申し込むと最大3か月分無料

お笑いライブをはじめ
ライブストリーミングを提供中

パワードコムでは、光ファイバー接続サービスならではの速度を生かしたストリーミング動画系のコンテンツを、専用サイト「Powerbroad」[URL01](http://www.powerbroad.ne.jp/)で提供している。こちらには、映画や各種ジャンルごとに分かれたテレビ・ビデオ番組を提供中だ。「POINT」ユーザー専用のサービスとしては、大人でも楽しめる子供向けの教育サイト「キッズパスポートワールド」[URL02](http://www.kidspass.jp/)や一人話芸の日本一を決める吉本興業企画のお笑いトーナメント「POWEREDCOM R-1ぐらんぱり2003」[URL03](http://www.point.ne.jp/r-1/)の映像を現在無料で配信している(5月31日まで)。

このほか、パワードコムでは会員数が100万人を超えるアバター(ユーザーの分身となるグラフィカルなキャラクター)を活用したコミュニケーションサイト「カフェスタ」などを提供し、光ファイバーの高速性を体感できる。

[URL01](http://www.powerbroad.ne.jp/) <http://www.powerbroad.ne.jp/>

[URL02](http://www.kidspass.jp/) <http://www.kidspass.jp/>

[URL03](http://www.point.ne.jp/r-1/) <http://www.point.ne.jp/r-1/>

キャンペーン情報

- ・4月30日まで「光プラン / TEPCOひかり・ホーム、SOHO」に新規に申し込むと、初期費用と接続料(月額利用料)メディアコンバーター使用料が最大3か月無料になる。
- ・4月30日までIP電話の「POINT Phone」に申し込むと、初期費用が無料になる。

問い合わせ先

株式会社パワードコム
POINTコールセンター

0081-1588

(平日10:00~21:00、土日祝10:00~18:00)

<http://www.point.ne.jp/>

@nifty

http://www.nifty.com/hikari/

ニフティ

パソコン通信時代から続く@niftyは、常にその時代とユーザーニーズに即した接続サービスを提供している。光ファイバー接続では、家族用IDやウェブフィルターサービスを無料で提供するほか、光ファイバー専用サポートセンターなどを標準で用意する。

光ファイバー接続ユーザー向けの各種特典を用意

@niftyには非常に多くの料金プランと接続サービスの選択肢がある。将来は必要になるかもしれないが今は必要ないならば、現状のニーズに沿った最低限必要なサービスを利用すればいい。たとえば、将来的には光ファイバー接続サービスを利用したいが、まだしばらくはADSLで十分だと考えているユーザーは多いはずだ。とはいえ、ある種の資産ともいえるメールアドレスやホームページのURLはこのまま維持したい。接続プランや回線の選択肢が多く用意して柔軟に利用できる@niftyは、インターネットを日常的に使うユーザーにとって非常に使い勝手のいいインターネットへの玄関口として活躍する。

@niftyには光ファイバー接続ユーザーのみ利用できる特典サービスがいくつかある。家族用の追加IDが無料で2つまで取得で

きるほか、子供向けの視聴制限(ウェブフィルター)機能が無料で使えるなど、家族でインターネットを使うユーザーにぴったりな特典を用意する。さらに、IP電話「@niftyフォン」の初期費用と基本利用料が無料になったり、光ファイバー接続ユーザー専用のサポートセンターなどが利用できたりする。また、ワイヤレスブロードバンドルーターのレンタルサービスが用意されているので、宅内での配線に悩まされているユーザーは利用を検討してみるといい。

セキュリティ関連や「ココログ」など先進的サービスを積極的に導入

@niftyを光ファイバー接続で使う場合のメリットは、安心して常時接続環境下でインターネットを利用できるという点と動画や画像などヘビーなコンテンツを扱うサービスが利用できることだろう。

@niftyには、インターネットに接続されたパソコンを危険なウイルスや外部からの不正なアクセスから防御する「@niftyBBセキュリティ」や、ダイレクトメールや嫌がらせのメール

* 1 Bフレッツコース(ベーシック)のみ10台可能
100Mbpsは理論値。必ずしもこの速度は保証されているものではなく、ユーザーの通信環境や接続の時間帯などによっては、思うように速度が出ない場合や不安定な場合がある。

サービス概要

最大通信速度	下り上り最大100Mbps
IPアドレス数	1
ダイナミックDNS	オプション
接続可能台数	5台*1
接続方式	PPPoE
メールアドレス	3個
ホームページ容量	20MBまで無料
IP電話	標準添付

料金表

回線事業者	Bフレッツ			TEPCOひかり
	ニューファミリー/ ファミリー100	マンション	ベーシック	
初期費用	27,100円	11,900円	27,100円	31,500円
月額	プロバイダ料*2 1,880円	1,880円	7,500円	6,500円
利用料	回線利用料*3 4,500円/4,300円	プラン1 2,850円/3,000円*4 プラン2 3,500円*4	9,000円	-

* 2 @niftyに支払う料金

* 3 別途機器レンタル費や屋内配線利用料などがかる

* 4 プラン1: 8件以上の申し込みが見込まれる場合、プラン2: 16件以上一括して申し込む場合



など、迷惑メールを自動的に専用のフォルダーに振り分ける「迷惑メールフォルダー」などのサービスが充実している。

また、@niftyはパソコン通信の時代から続く老舗のプロバイダーだ。当時から加入するコアなユーザーが多いこともあってか、ダイナミックDNSや現在人気のウェブログサービス「ココログ」のような先進的なサービスをいち早く導入している。これらのサービスを満喫したいなら、光ファイバー接続はおすすめだ。

光ファイバー接続はまだ普及が始まったばかりだが、今後はデジタルカメラの画像やムービーを多用するような映像志向のサイトが増えることが予想されるため、それらにいち早く対応できる回線事業者やプロバイダーを選びたい。これまで先進的に光ファイバー接続向けの各種サービスを提供してきた@niftyならその点で安心だ。

キャンペーン情報

5月31日までに加入すると次の特典が適用できる

<特典1>

Bフレッツ: NTT工事費無料
TEPCOひかり: 初期費用無料

<特典2>(以下のいずれかを選択)

・@nifty月額利用料が最大3か月間無料
・@nifty月額利用料が最大2か月間無料+出張サポート無料

キャンペーン特典の適用料金、適用期間、サービスエリアなどの詳細は

http://www.nifty.com/bb/cam/で確認するか、下記電話番号まで問い合わせのこと

問い合わせ先

ニフティ株式会社
@niftyブロードバンド導入ご相談窓口
0120-816-042
(9:00~21:00年中無休)

ぶらら

B フレッツセット / B フレッツ・マンションセット

ぶららネットワークス

<http://www.plala.or.jp/access/>

ぶららはショッピングや各種割引サービスを活用することで基本料金がどんどん割引になる。また、フリーチケット制を採用しており、メールやホームページ容量などの利用したい機能を選択してカスタマイズできるため無駄もない。特に価格を重視するユーザーにおすすめだ。

B フレッツとの同時加入で工事費 および最大5か月の基本料が無料

ぶららの最大の魅力は、フレッツサービスの提携プロバイダーの中でも1、2を争う安さだろう。基本料が安いのはもちろん、フレッツ回線との同時加入で、Bフレッツなら工事費と5か月分も基本料が無料になる割引サービスもある。他のプロバイダーからの乗り換えの場合は基本料2か月分が無料になる割引サービスも実施中だ。

他のプロバイダーでは標準で提供されるようになってきたIP電話サービス「ぶららフォン for フレッツ」は、ぶららでは基本サービスとして提供しておらず、付加サービス扱いだ。しかし、IP電話サービスに加入すると月額利用料が増えるどころか200円割引になるというから面白い。

このIP電話サービスは利用者同士の通話はもちろん無料だ。また国内携帯電話への相互接続にも対応しており、1分19円で

利用できる。国際電話についてもアメリカ本土なら1分2.5円だ。さらにNTTコミュニケーションズとのIP電話基盤相互接続によって、ぶららフォン for フレッツからNTTコミュニケーションズのIP電話基盤を利用する提携プロバイダーのIP電話サービス利用者と、相互に「050」番号を用いた発信が可能となっている。

固定IPアドレスの代わりとして安価に利用できるダイナミックDNSサービスに関しては、ぶららではURLの末尾が「.plala.jp」になる形でのみ利用が可能だ。ただし、ダイナミックDNSは他の付加サービスと扱いが異なる。フレッツ・ADSLまたはBフレッツのユーザーのみが利用できるオプションサービスとなっているため注意してほしい。

ぶらら無料化計画で さらに基本料金を割引

価格が最大の魅力であるぶららだが、も



う一つの魅力が会員限定サービスの充実ぶりだ。特に、光接続化することで大幅に快適になるストリーミングの動画提供サービス「Plala.TV」などのコンテンツも豊富で、今後もますます充実する予定だという。

さらにぶららでは、パソコンや周辺機器、デジタル家電販売といった提携サイトでのショッピング利用額や、各種サービスの申し込み内容に応じて、月々の基本料金がさらに割引になる「ぶらら無料化計画」を実施している。これらの割引サービスをうまく活用すると、ぶららの基本料金はほとんど支払わずに済む仕組みになっている。それでいて、一般に必要とされるサービスは網羅しており、安いからといって不便を感じることもまずない。

基本サービスは、フリーチケットを使ってユーザーごとにサービス内容を選択するので、ホームページは使わない代わりにメールアドレスを追加したいといったニーズにも応えられるだけの柔軟性がある。価格にこだわらぬユーザーなら一度は検討しておきたいプロバイダーだといえる。

キャンペーン情報

5月31日までぶらら会員限定で、パソコンにインストールするタイプのコンピュータウイルスソフト「ウイルスバスター2004 インターネットセキュリティ」を無料で使えるお試しキャンペーンを実施中。

問い合わせ先

株式会社ぶららネットワークス
入会受付窓口

09192-39(通話料無料)

(5/3～5/5と12/29～1/3を除く、
平日10:00～22:00、土日祝12:00～19:00)

kojin@plala.or.jp

サービス概要

最大通信速度	下り上り最大100Mbps
IPアドレス数	1
ダイナミックDNS	オプション
接続可能台数	5台*1
接続方式	PPPoE
メールアドレス	1個*2
ホームページ容量	なし*2
IP電話	加入時200円割引

*1 Bフレッツベーシックセット / Bフレッツプラス・ベーシックセットのみ10台可能

*2 メール、ホームページ容量はセットごとに割り当てられたフリーチケットを使うことで無料で拡張可能
ベストエフォートサービスのため、インターネット利用時の通信速度を保障するものではない

料金表

回線事業者	Bフレッツ		
プラン名	ニューファミリー/ ファミリー100	マンション	ベーシック
初期費用	27,100円	21,000円	28,455円
月額 利用料	プロバイダー料*3 1,470円	892円	1,470円
	回線利用料*4 4,725円/4,515円	プラン1 3,675円*5 プラン2 2,993円/ 3150円*5	9,450円

*3 ぶららに支払う料金

*4 別途機器レンタル費や屋内配線利用料などがかかる

*5 プラン1: 8件以上の申し込みが見込まれる場合、プラン2: 16件以上一括して申し込みの場合



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp